

株式会社ミマキエンジニアリング 個人投資家向け会社説明会

2021年3月15日

3DUJ-2207

(2021年1月発売開始)



JV100-160

(2020年12月発売開始)

SUJV-160

(2020年10月発売)



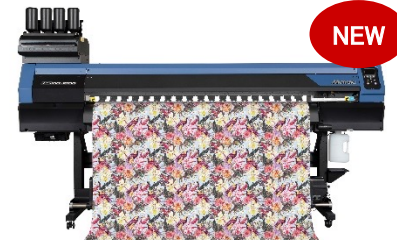
UJF-6042 MkII

JFX200-2513 EX



Tiger-1800B MkIII

(2021年2月発売開始)



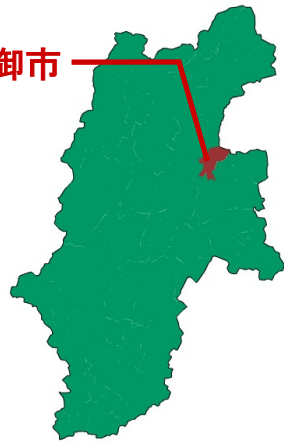
TS100-1600

(2021年2月発売開始)

会社概要

- ✓ プロフィール
- ✓ Mimakiのコア技術
- ✓ 経営ビジョン
- ✓ グローバル展開
- ✓ サステナビリティへの対応

プロフィール

設立	1975年8月	
資本金	4,357百万円	
本社	長野県東御市滋野乙2182-3	
代表者	代表取締役社長 池田 和明	
従業員数	連結：1,981名 / 単体：816名 ※2020年12月末現在	
グループ会社 *印は各1社としてカウント	<p>◆産業用インクジェットプリンタ関連 (計20社) ※2020年12月末現在</p> <ul style="list-style-type: none"> 販売関連：13社 <ul style="list-style-type: none"> 欧州：ミマキEUROPE(オランダ)*、ミマキドイツ、ミマキEURASIA(トルコ)、ミマキBompan(イタリア) 北米、中南米：ミマキUSA、ミマキブラジル アジア・オセアニア：上海御牧、ミマキインドネシア、ミマキシンガポール、ミマキオーストラリア、ミマキインド、台湾御牧*、ミマキタイランド (*製造事業も展開) 開発、製造関連：7社 <ul style="list-style-type: none"> 国内：(株)ミマキプレジジョン 中国：浙江御牧、平湖御牧 欧州：ミマキEUROPE、ミマキLM(イタリア)、ミマキリアニア 台湾：台湾御牧 プリントサービス関連：2社 <ul style="list-style-type: none"> 国内：(株)グラフィッククリエーション、(株)楽日 <p>◆アルファードesignグループ (計6社)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発、製造関連：2社 <ul style="list-style-type: none"> 国内：アルファードesign(株)*、(株)アルファードシステムズ* (*販売も行う) 販売関連：3社 <ul style="list-style-type: none"> 中国：大連阿爾法設計有限公司、阿爾法自動化技術有限公司、上海分公司 金属加工関連：1社 <ul style="list-style-type: none"> 国内：(株)砺波製作所 	
上場市場	東京証券取引所 市場第一部 / 証券コード 6638	
発行済株式総数	32,040,000株 (単元株=100株) ※2020年12月末現在	

ミマキ
ミマキは、創業の地名「北御牧村」に由来します

御牧とは…

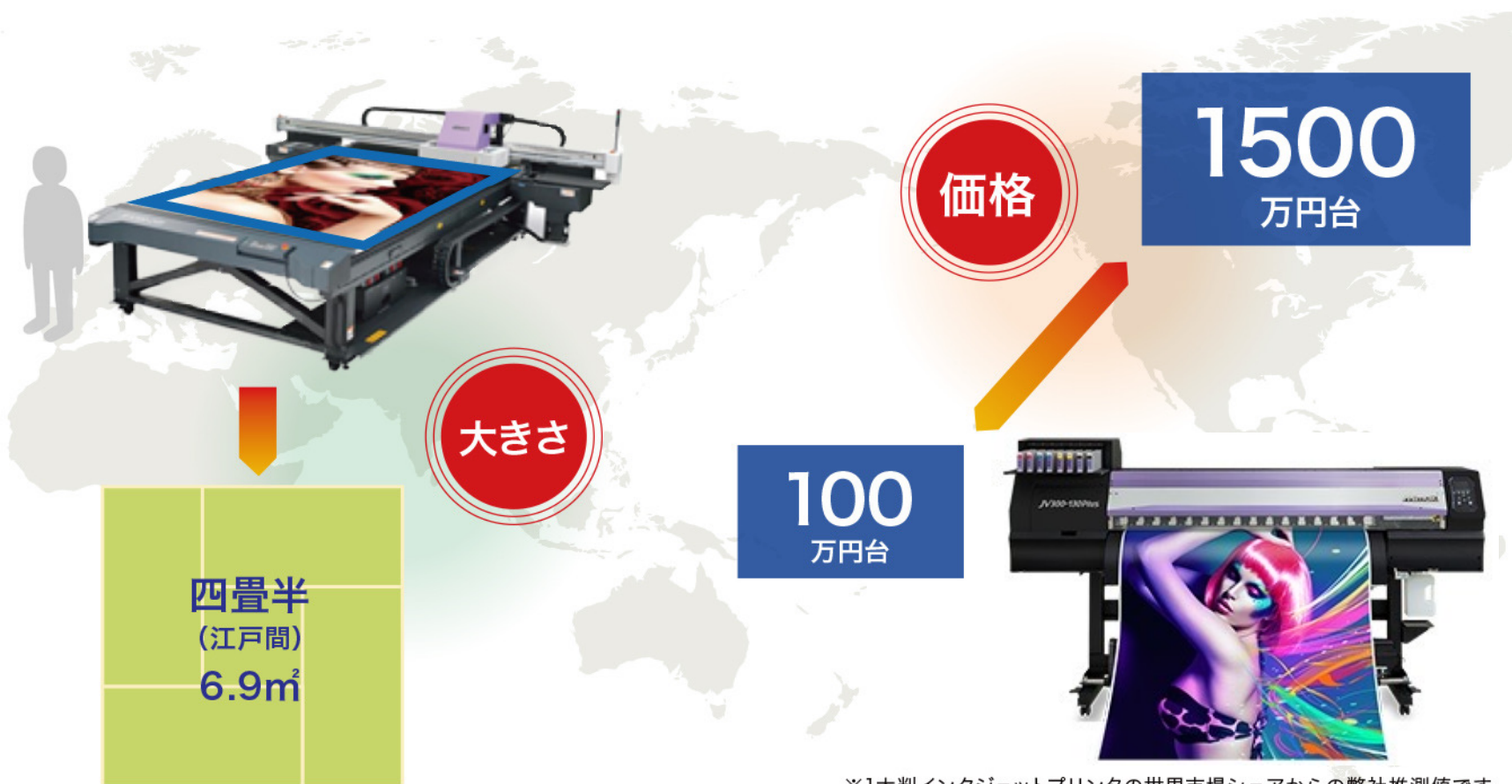
- 平安時代、朝廷の御料牧場が存在
- 標高800mの台地で良質の馬を飼育



旧北御牧村



産業用インクジェットプリンタにおける 世界のトップメーカー※1



※1大判インクジェットプリンタの世界市場シェアからの弊社推測値です。

1

独自技術を保有し、自社ブランド製品を世界に供給する「**開発型企业**」を目指します。

2

顧客に満足いただける製品を素早く提供する**小回りの利いた会社**を目指します。

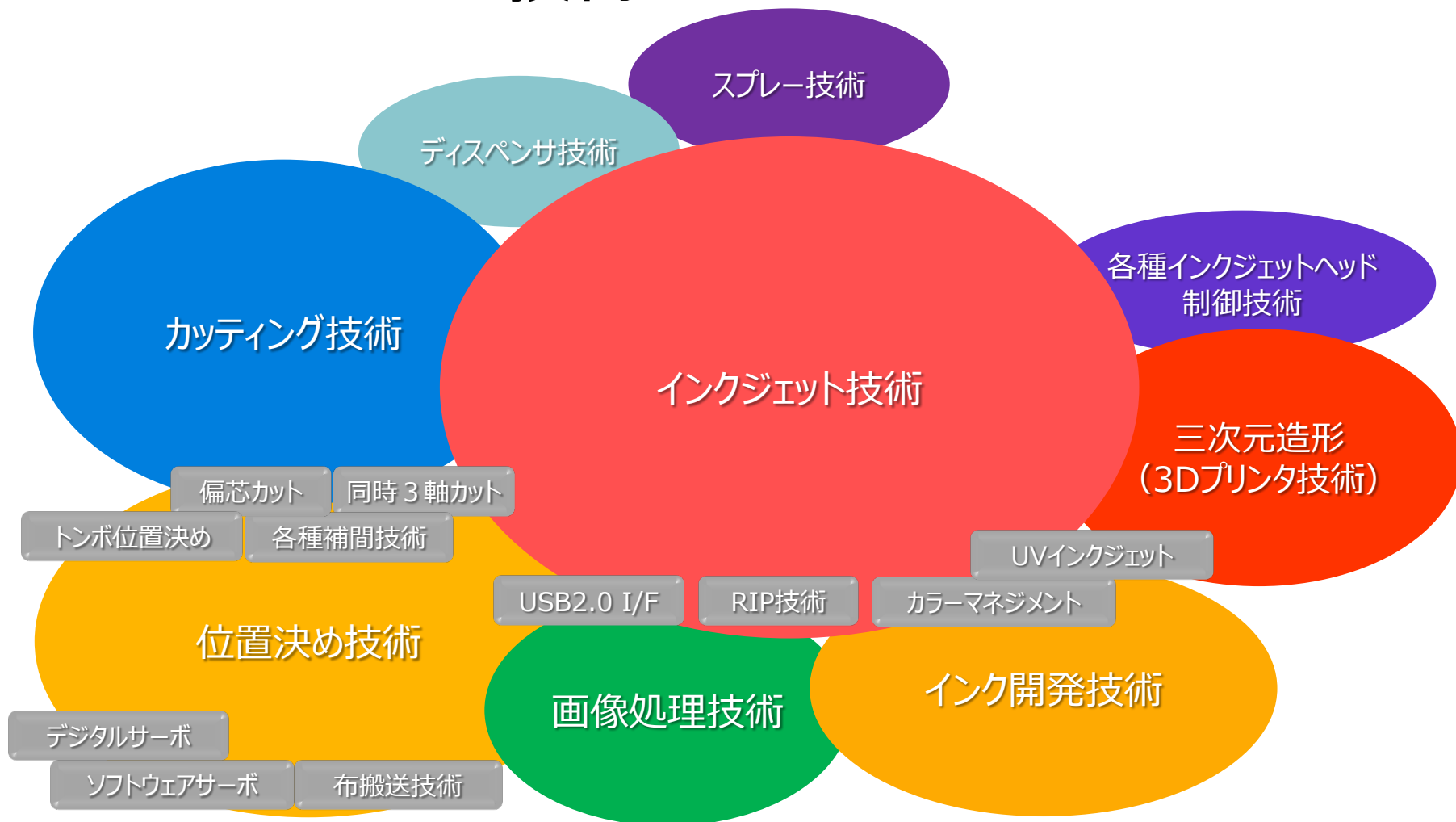
3

市場に常に「**新しさと違い**」を提供する**イノベーター**を目指します。

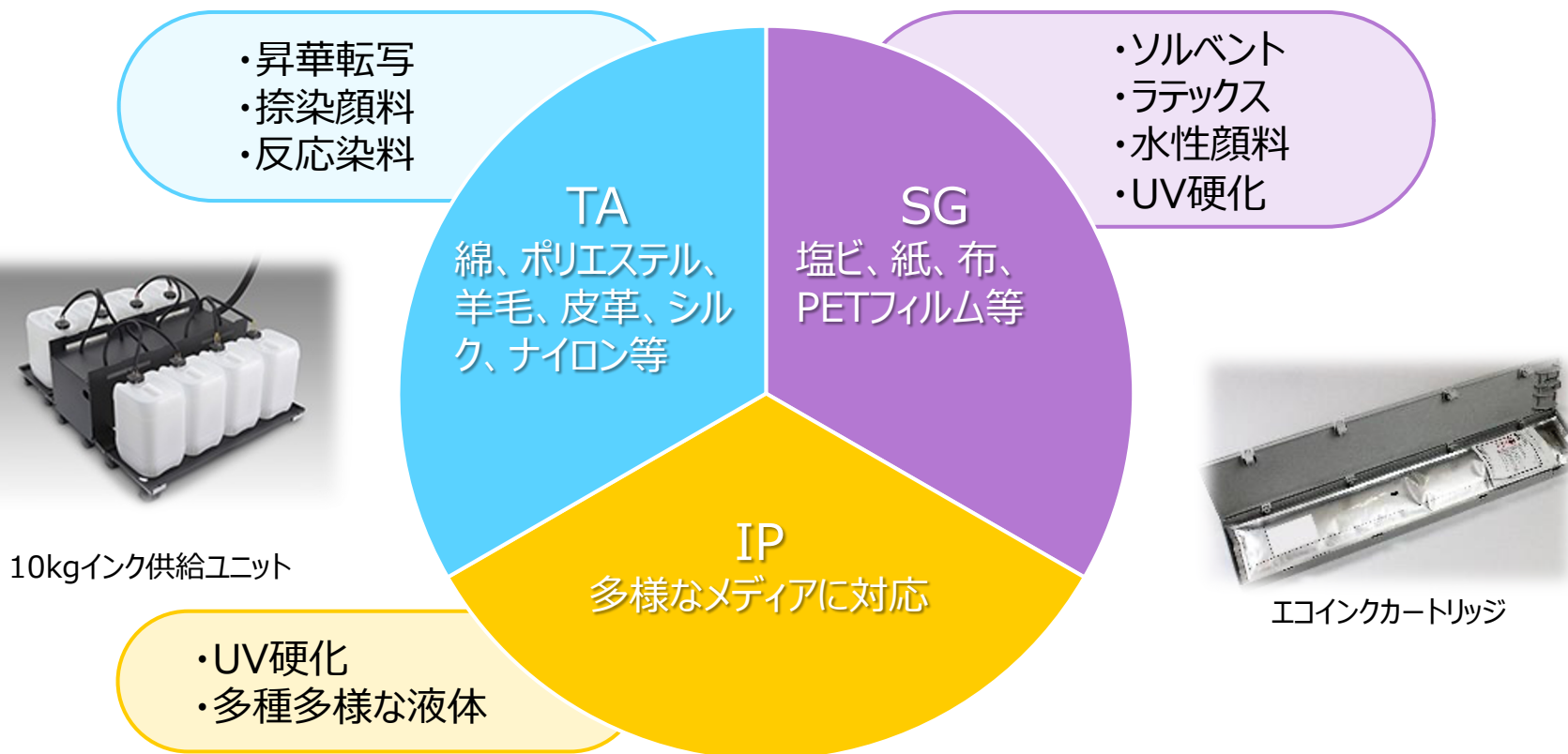
4

各人が持っている**個性・能力**を**力一杯発揮**できる**企業風土**を目指します。

■ Mimakiのコア技術



- プリンタ本体に付加価値をもたらす**機能性インク**を独自開発



競合に大きく勝るオリジナルインクの品揃えとヘッド制御技術が強み

Mimakiの強み UVインク技術

- 環境に配慮した素材（非塩ビメディア）への対応



和紙



布

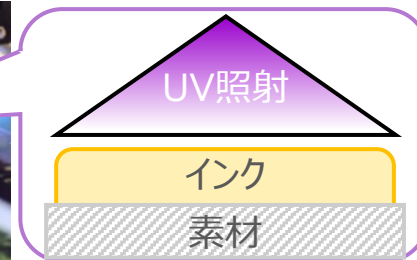


木材



etc.

- 環境に優しく、健康負荷の軽減にも配慮



- ・ヒーター不使用のため、消費電力が少ない
- ・インクの原料にVOC物質不使用
- ・オゾンレス



有害物質がほとんど発生しないため、
成果物の安全性が高い&低臭

- 業界最強のUVプリンタ特許技術に基づく戦略的な競争優位性強化

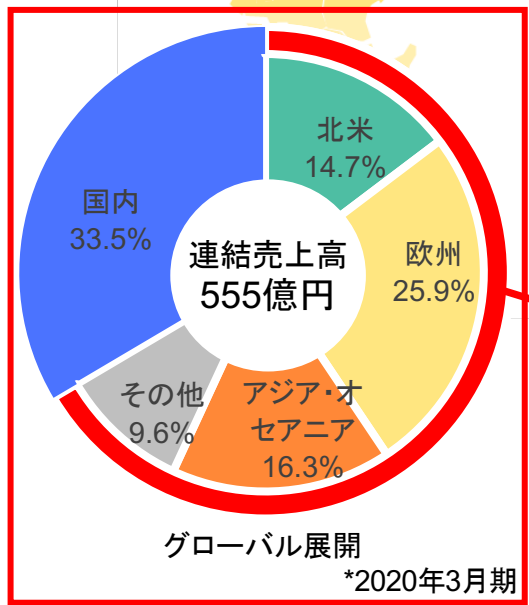
ミマキにしかできないUVプリンタを
今後も世の中に送り出し続ける

ミマキが保有するUVプリンタ関連特許権
(2003年～)

日本	米国	欧州	中国	出願中
約130	約60	約30	約40	約60

ミマキブランドをグローバルに展開

拠点的な無いエリアは販売代理店を使い、販売実績は**150ヶ国以上*** * 2020年12月末現在



海外売上高 66.5%

エリア統括オフィスの所在地

- ・アムステルダム
- ・欧州・中東・アフリカ
- ・日本(長野県)
- ・日本・アジア・オセアニア
- ・アトランタ
- ・北・中南米

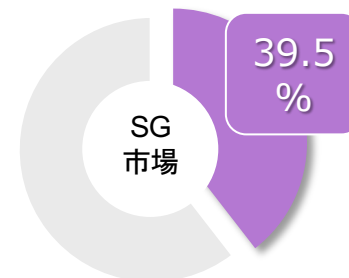
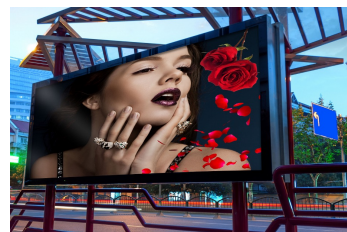
子会社の本社所在地
子会社の主要支店所在地

販売市場

- ✓ SG市場
- ✓ IP市場
- ✓ TA市場
- ✓ 3Dプリンティング

SG Sign Graphics

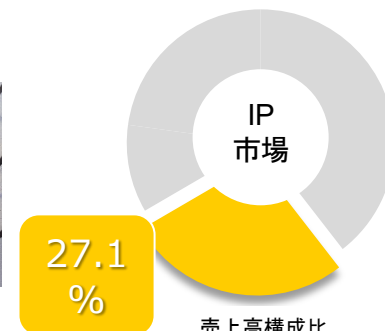
広告・看板等、街を彩るビジネスシーンで活躍している当社の主力製品群。



売上高構成比

IP Industrial Products

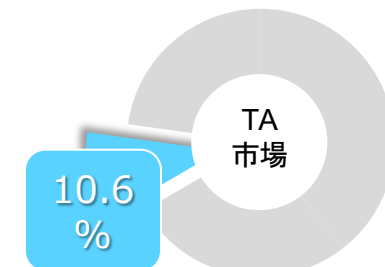
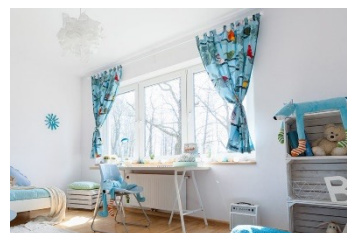
一般消費者向けのギフトやノベルティ、オーダーグッズ等の生産現場等で使用されている製品群。



売上高構成比

TA Textile & Apparel

ファストファッション・スポーツウェア業界のほか、ファニチャー業界で拡大している製品群。

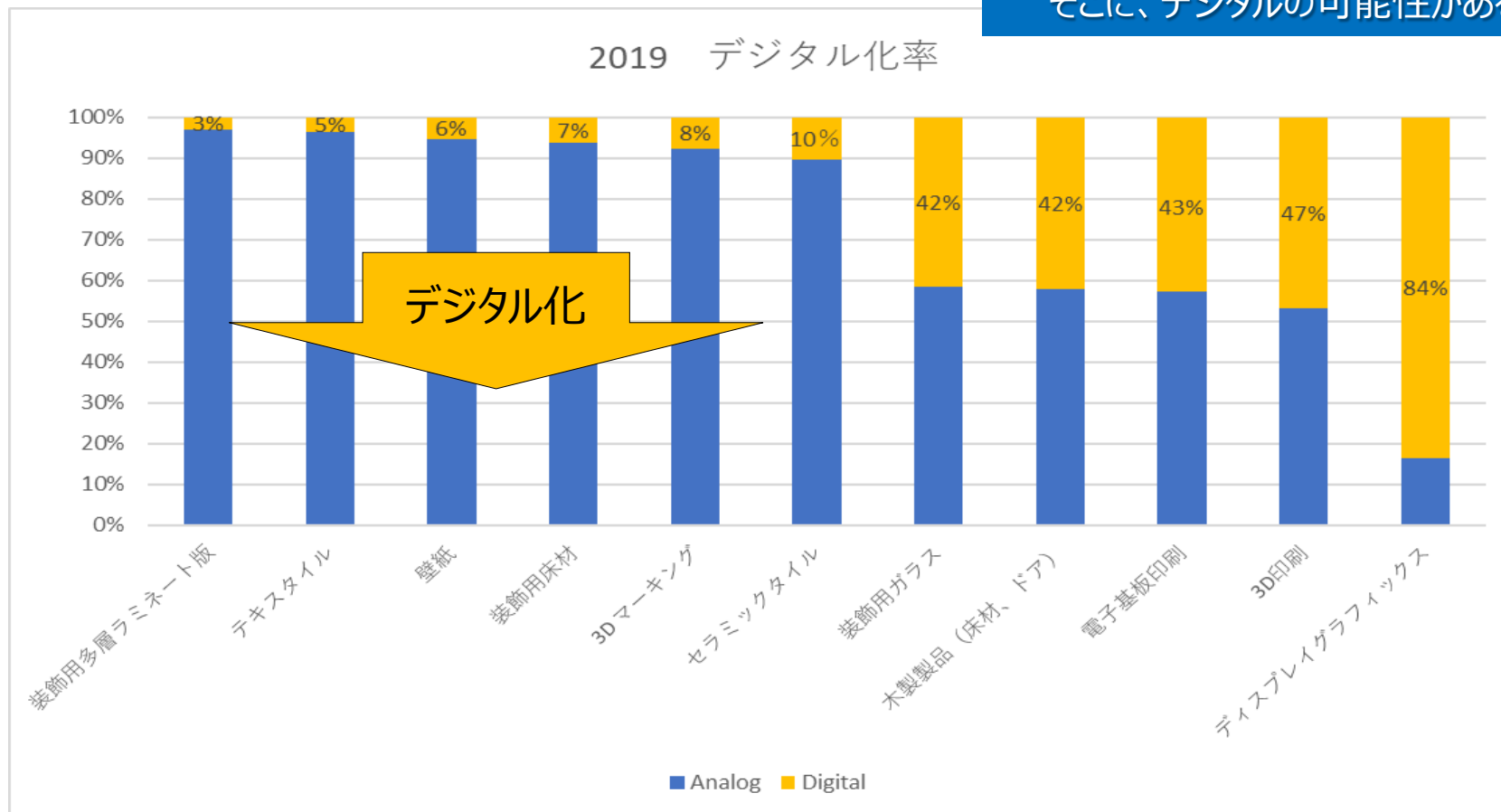


売上高構成比

ミマキを取り巻く市場環境

産業印刷のデジタル化は未だ途上

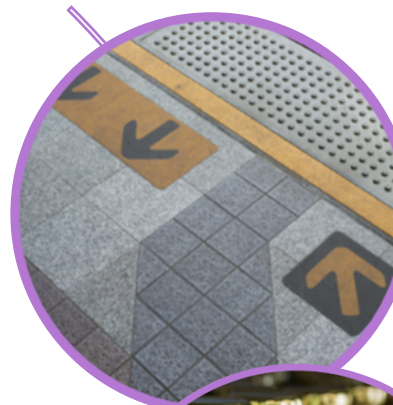
私たちを取り巻く環境には様々な印刷物が存在するが、産業用印刷物については、まだまだアナログ印刷が主流。そこに、デジタルの可能性がある。



● 街を彩るビジネスシーンでの活用事例



案内看板
(MWCS)



アスファルト



電飾看板



POP



屋外サイン



ラッピング

●工業製品やノベルティ等での活用事例



ノベルティ



時計



カード



ボトル



スマートフォンケース



メーターパネル



アクリルスタンド



メンブレンスイッチ

● ファッションアパレルやインテリア等での活用事例



ドレス



サッカーユニフォーム



着物



クッションカバー



生地



カーテン



スカーフ



垂れ幕

● フィギュアや医療、試作用途での活用事例



フィギュア



船



アパレル



試作用途
(ギア)



医療



地図



サステナビリティへの対応

- 当社グループは、資源循環型の経営・技術に鋭意取り組んでまいります



独自のラスタ技術
(インクジェット等)



独自のベクター技術
(カッティング等)

独自のラスタ技術とベクター技術で社会・環境ニーズに貢献する
デジタル・オンデマンド(必要な時に必要なだけ)プリントを推進

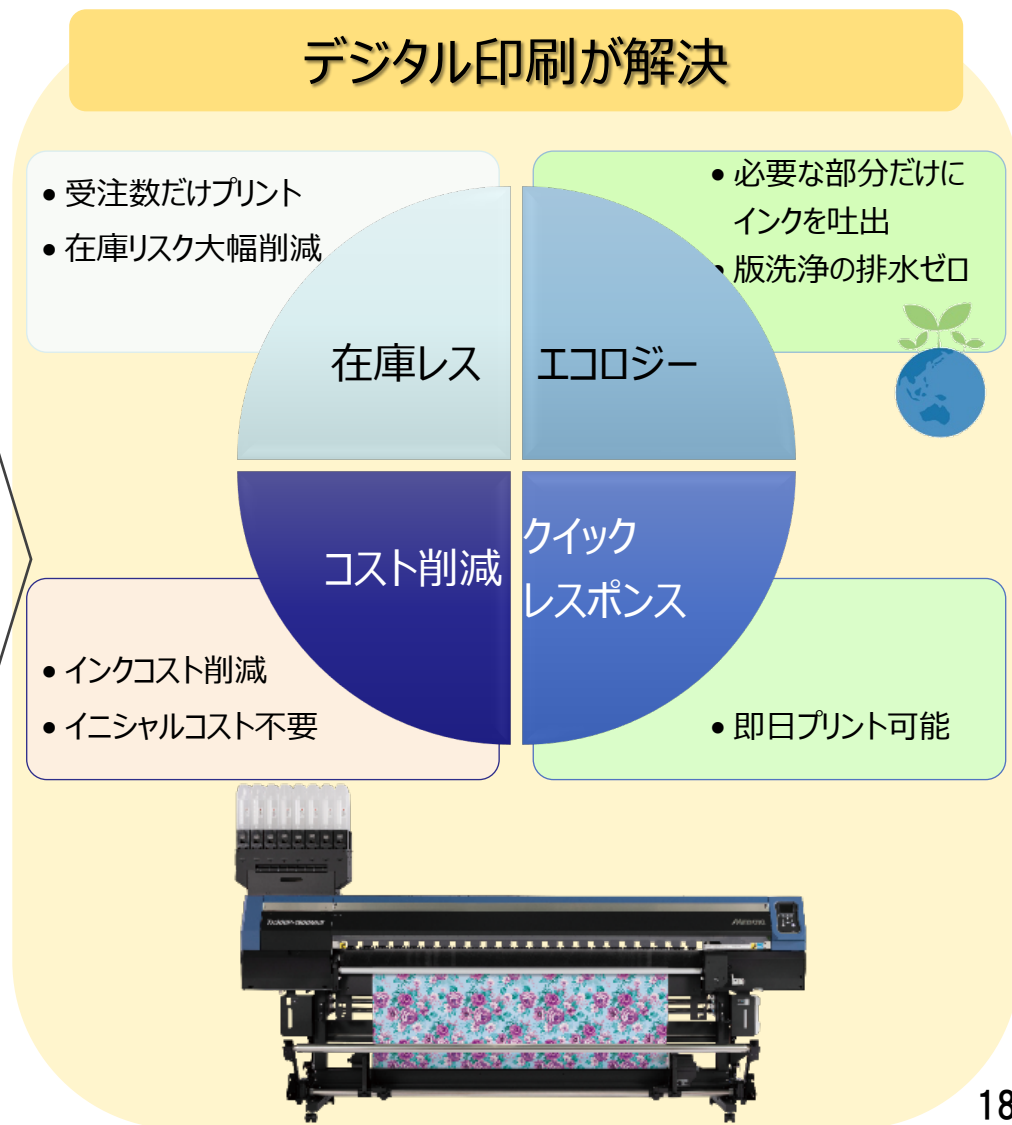
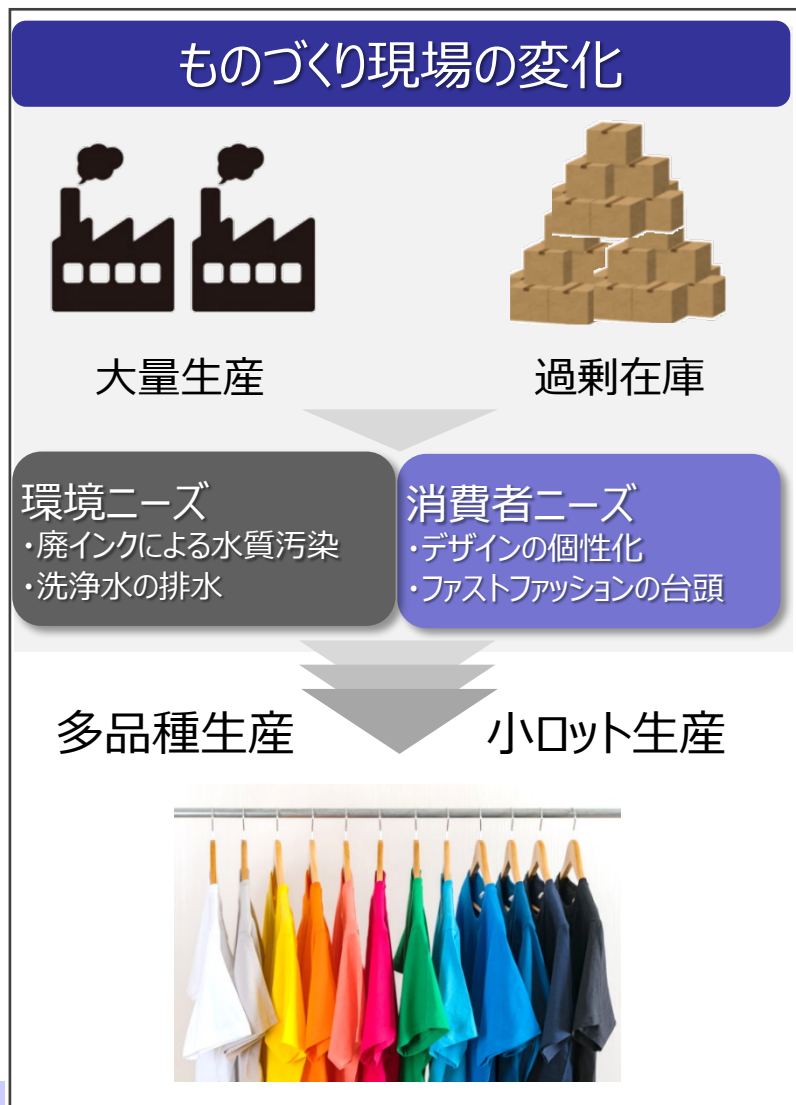


省人化

無水捺染

無人化

● 社会・環境ニーズとものづくり現場の変化



SDGsへの貢献



1. 節水



2. 在庫ロスの減少



3. 物流フローの削減



4. 生産設備の効率化



5. 環境に優しいインクの開発・製造



6. 環境へ配慮したインクカートリッジ



企業・IRサイトで
SDGsに関する情報を掲載しています



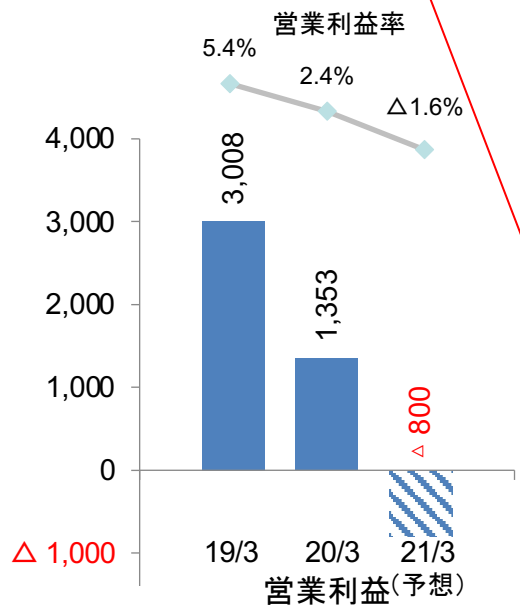
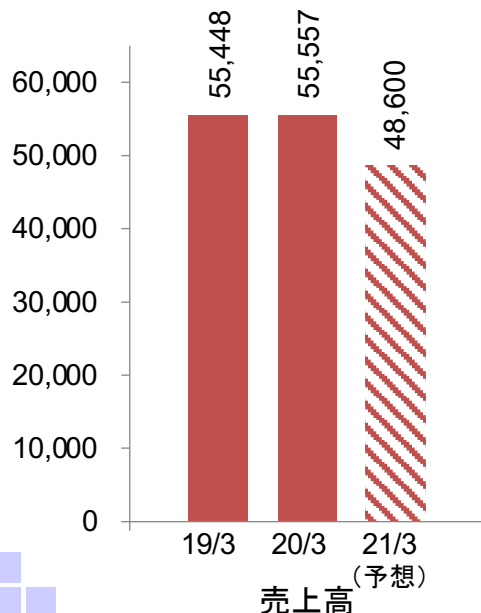
<https://ir.mimaki.com/about/sdgs/>

2021年3月期連結業績 通期予想

- ✓ 連結業績ハイライト
- ✓ 市場別売上高
- ✓ エリア別売上高
- ✓ 設備投資・減価償却・開発投資予想

連結業績予想ハイライト (2021年3月期)

(単位：百万円)	2020年3月期		2021年3月期						
	通期	売上比率	上期	下期(予想)	通期(予想)	増減額	増減率	売上比率	為替影響除く 前年増減率
■ 売上高	55,557		20,862	27,738	48,600	△6,957	△12.5%		△10.6%
■ 営業利益	1,353	2.4%	△1,902	1,102	△800	△2,153	-	△1.6%	-
■ 経常利益 <small>親会社株主に帰属する</small>	946	1.7%	△1,372	1,432	60	△886	△93.7%	0.1%	-
■ 当期純利益	△777	△1.4%	△1,453	953	△500	277	-	△1.0%	-
為替 米ドル	108.75円	-	106.92円	104.75円	105.84円	△2.91円	△2.7%	-	-
(期中平均) ユーロ	120.83円	-	121.29円	122.27円	121.78円	0.95円	0.8%	-	-



為替影響で売上高△1,093、営業利益△619

(営業利益への影響内訳)

USD (108.75→105.84円)	△138
EUR (120.83→121.78円)	+64
その他 (人民元、BRL、TRY他)	△545
計	△619

※為替感応度 (1円の変動で年間営業利益に与える影響額)
USD/47 EUR/67

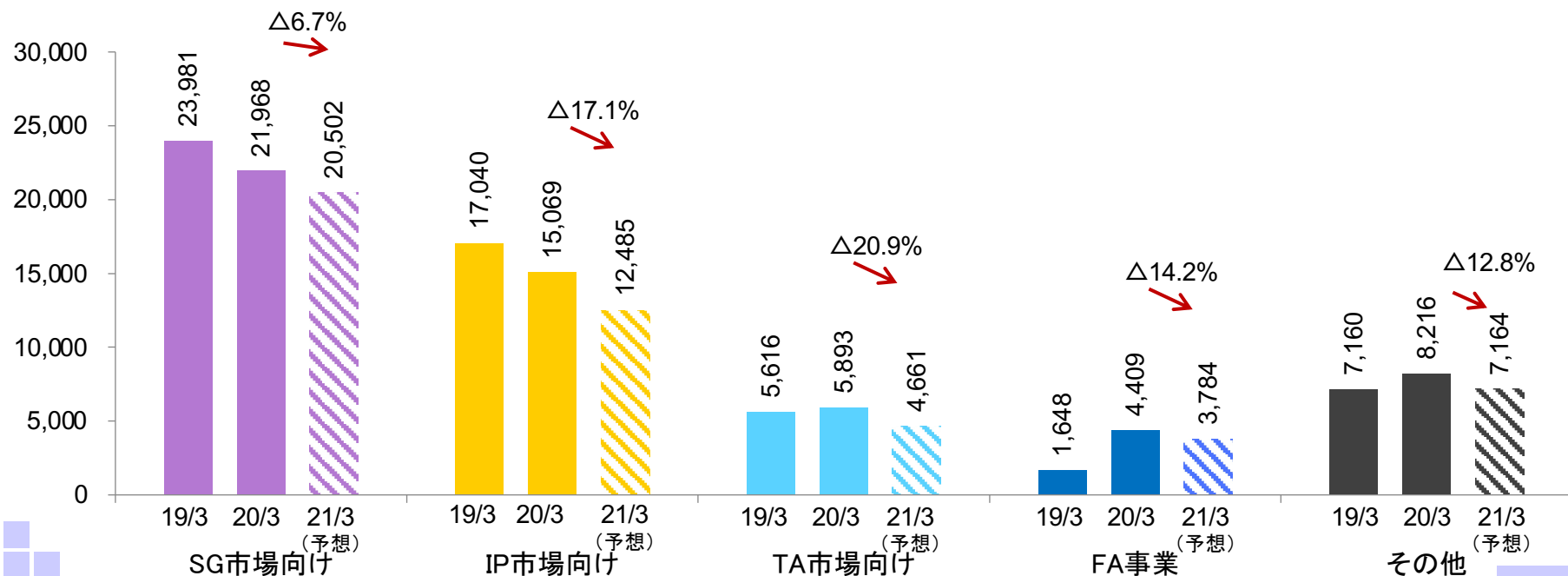
業績予想のポイント

上期：新型コロナウイルスの影響で顧客の需要が減少、売上高が大幅な減収となり、営業利益以下で赤字計上。

下期：経済回復に伴い顧客の印刷需要が回復し、売上高は前年同期比98%水準への回復を見込む。利益面では、売上高回復に加え、第2四半期に実行した構造改革の効果等により、営業利益以下で黒字化を見込む

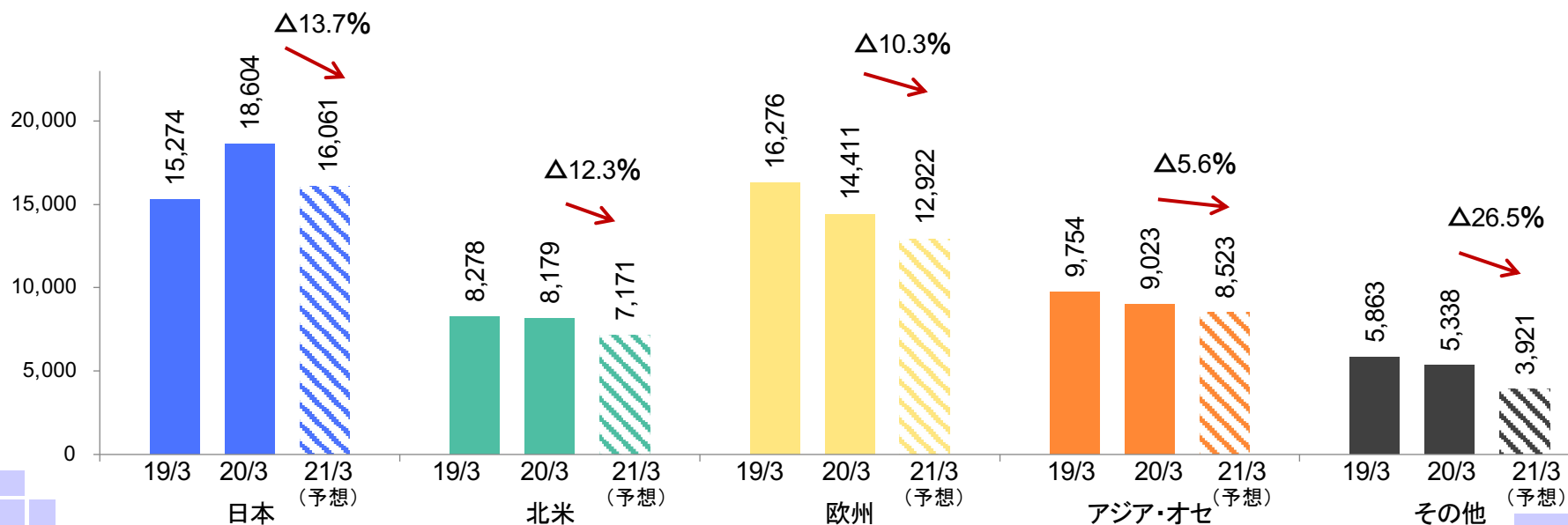
市場別売上高予想 (2021年3月期)

(単位: 百万円)	2020年3月期	2021年3月期				
	通期	上期	下期(予想)	通期(予想)	増減額	増減率
SG市場向け	21,968	8,556	11,946	20,502	△ 1,465	△ 6.7%
IP市場向け	15,069	5,275	7,210	12,485	△ 2,583	△ 17.1%
TA市場向け	5,893	1,631	3,030	4,661	△ 1,231	△ 20.9%
F A 事業	4,409	1,775	2,009	3,784	△ 625	△ 14.2%
その他	8,216	3,624	3,540	7,164	△ 1,051	△ 12.8%
合計	55,557	20,862	27,737	48,600	△ 6,957	△ 12.5%



エリア別売上高予想 (2021年3月期)

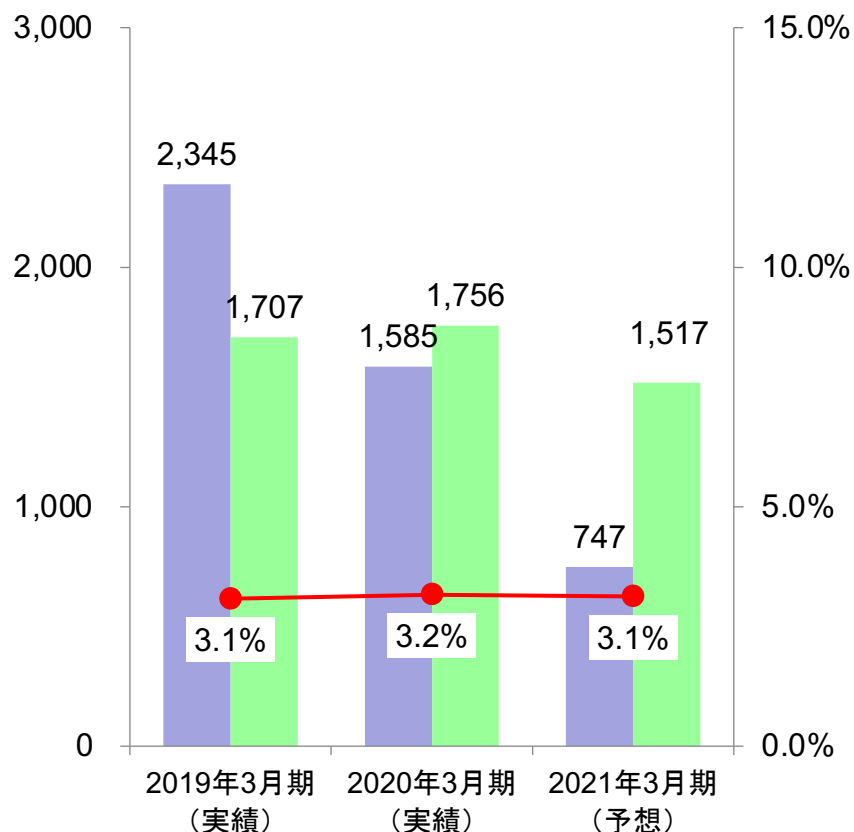
(単位:百万円)	2020年3月期		2021年3月期				
	通期		上期	下期(予想)	通期(予想)	増減額	増減率
■ 日本	18,604		7,050	9,011	16,061	2,542	13.7%
■ 北米 (現地通貨/\$)	8,179 (75.2M\$)		3,614 (33.8M\$)	3,556 (33.9M\$)	7,171 (67.7M\$)	1,008 (△7.4M\$)	12.3% (△9.9%)
■ 欧州 (現地通貨/€)	14,411 (119.2M€)		5,246 (43.2M€)	7,675 (62.9M€)	12,922 (106.1M€)	1,489 (△13.1M€)	10.3% (△11.0%)
■ アジア・オセ	9,023		3,772	4,751	8,523	500	5.6%
■ その他	5,338		1,180	2,741	3,921	1,416	26.5%
合計	55,557		20,862	27,737	48,600	6,957	12.5%



設備投資・減価償却・開発投資予想

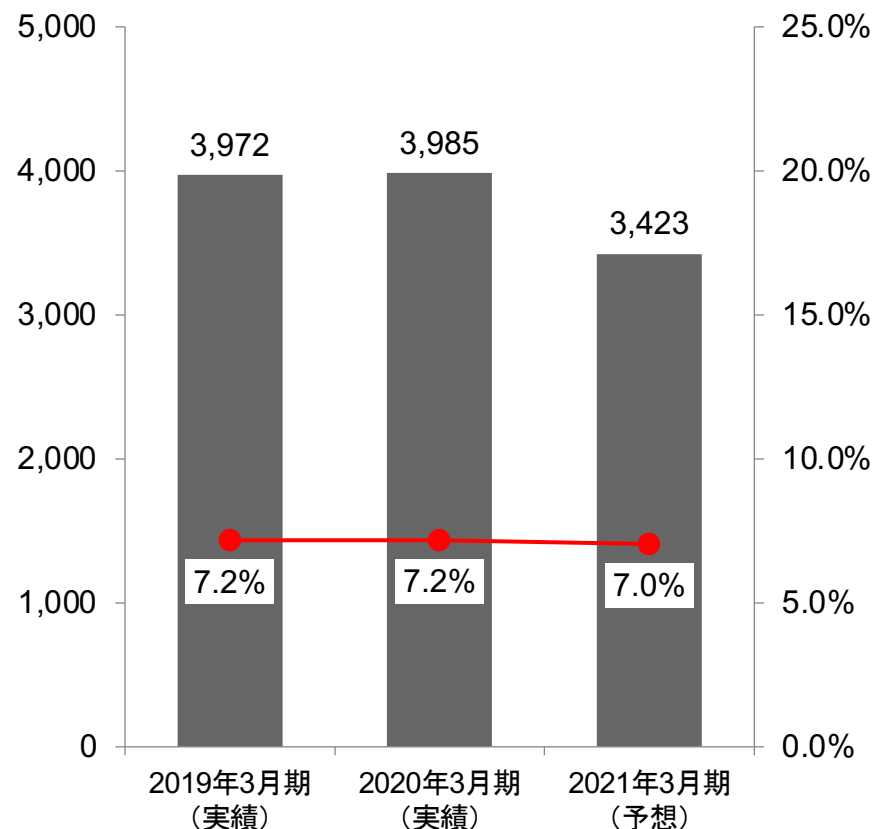
(百万円)

■ 設備投資 ■ 減価償却費 ● 減価償却費対売上比率



(百万円)

■ 開発投資 ● 対売上比率



※ 上記の金額は、研究開発活動に係る費用の総額を示すもので、既存製品の改良、応用等に関する費用が含まれております。

中長期成長戦略 Mimaki V10基本方針

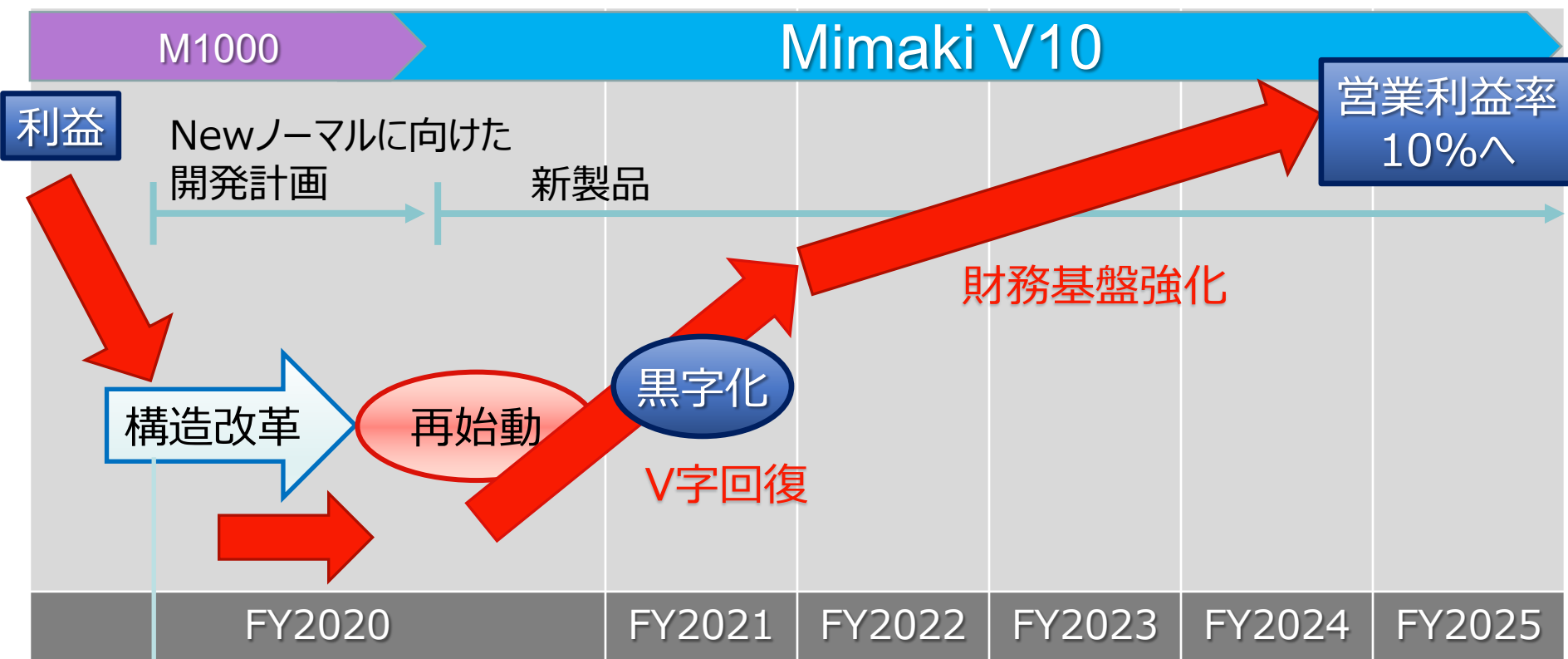
- ✓ Mimaki V10 経営方針
- ✓ Mimaki V10 で目指す姿
- ✓ Mimaki V10 業績目標
- ✓ Mimaki V10 製品戦略

経営方針

売上高成長を追求するだけでなく、高い収益を継続的に生み出すとともに、財務基盤を強化して、持続可能な成長に向けた強靱な企業基盤を構築したうえで、2025年度に営業利益率10%を達成する

- ① 収益性を重視し、2025年度において営業利益率10%、経常利益率8%を達成する
- ② 2020～2025年度の売上高平均成長率(CAGR)は、10%を目安とする
- ③ 環境変化への対応力を確保するために、キャッシュ・コンバージョン・サイクルの改善を通じて財務基盤を強化する
- ④ 製品開発で Innovation を起こし、顧客にとって価値のあるソリューションを提供し続ける
- ⑤ Mimaki V10 の達成に向け、ミマキグループが一丸となって取り組む組織風土を創り上げる

Mimaki V10 で目指す姿

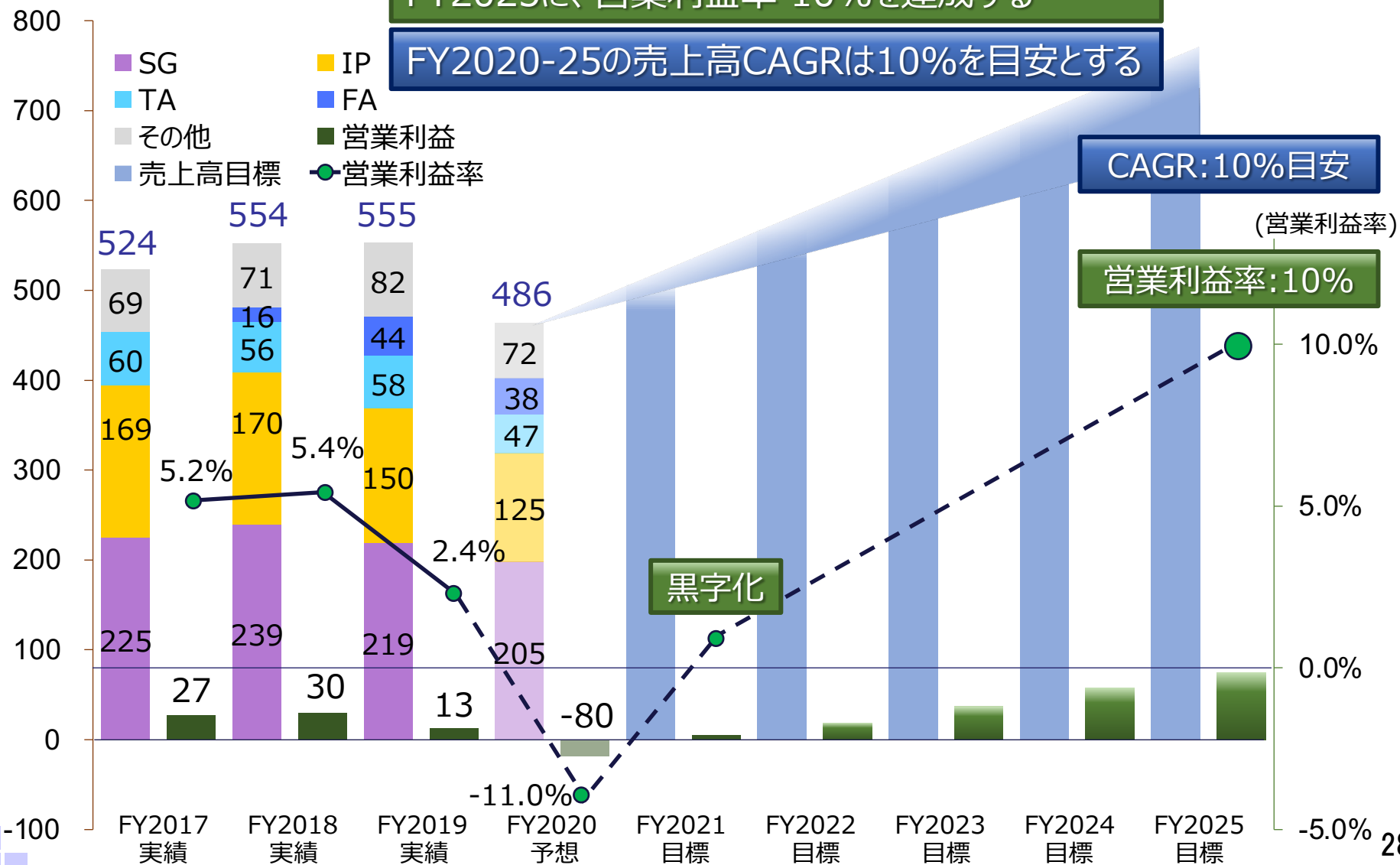


構造改革施策 ⇒ FY2019の80%の売上高(440億円)で利益が出る組織体制作り

- 適正在庫水準達成に向け、計画休業による生産調整と在庫削減施策(廃棄・評価減、販売価格対応等)を行い、在庫の圧縮を実施
- のれん等の減損損失等を計上し、資産の圧縮を実施
- 以上に必要な経費約15億円をFY2020予算に計上し実行

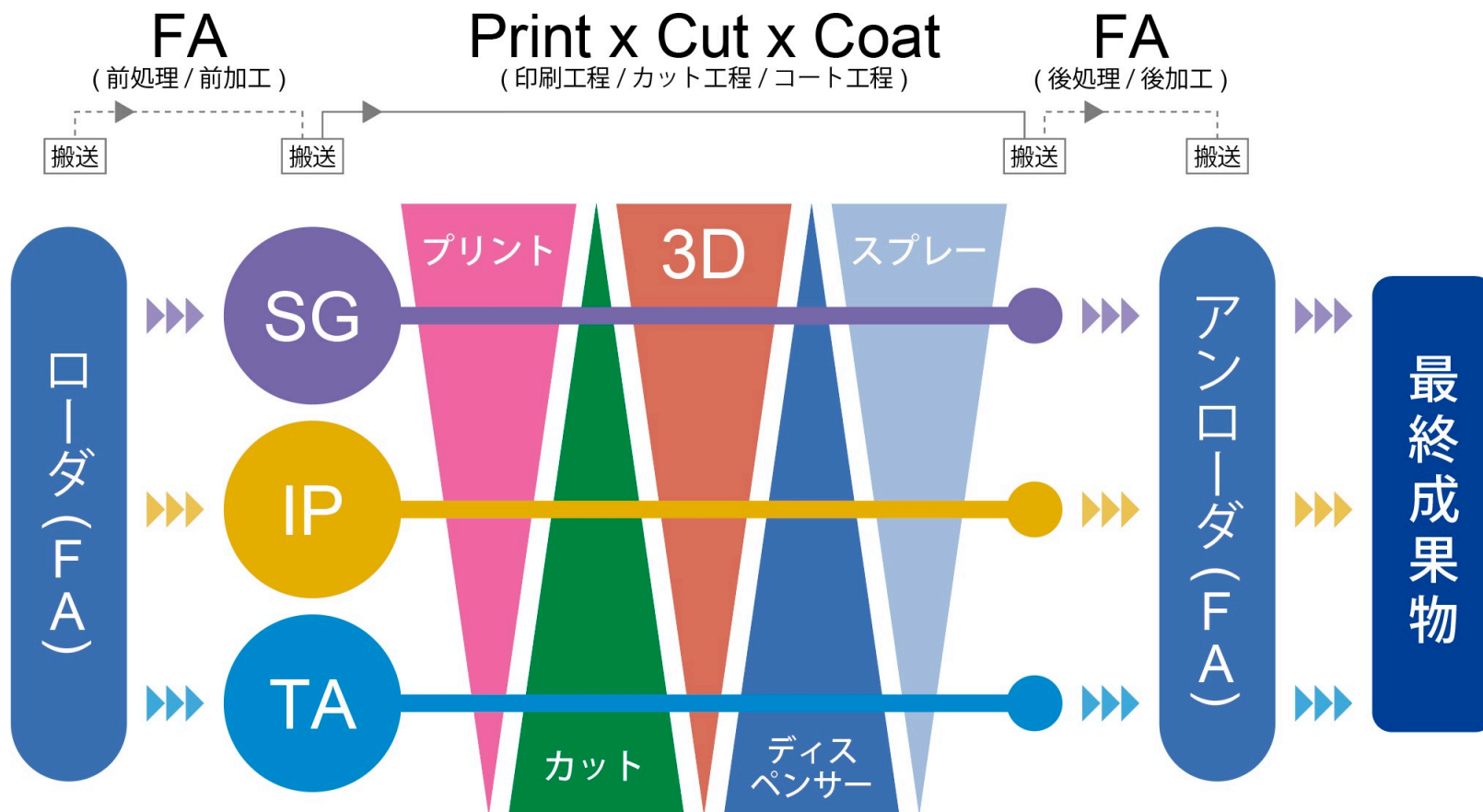
Mimaki V10 業績目標

(単位：億円)



デジタルオンデマンド・プリントソリューションの提供

- FA事業を保有する優位性を最大活用し、SG、IP、TA市場におけるプリント工程の自動化を実現する、デジタルオンデマンド・プリントソリューションを提供する



② 市場・事業別戦略

SG市場

- 従来主流の有機溶剤系インクから、環境負荷が低いUV硬化型インクへの転換が加速する機を捉え、競争優位を確保しているUV硬化型インクを生かした製品やソリューションの開発・販売活動を積極的に展開

■ 操作性能・画質・速度・コストバランスに優れた
エントリーモデル

■ プリント&カット対応
LED-UV硬化IJP

New

UJV100-160



New

JV100-160



UCJV300Series

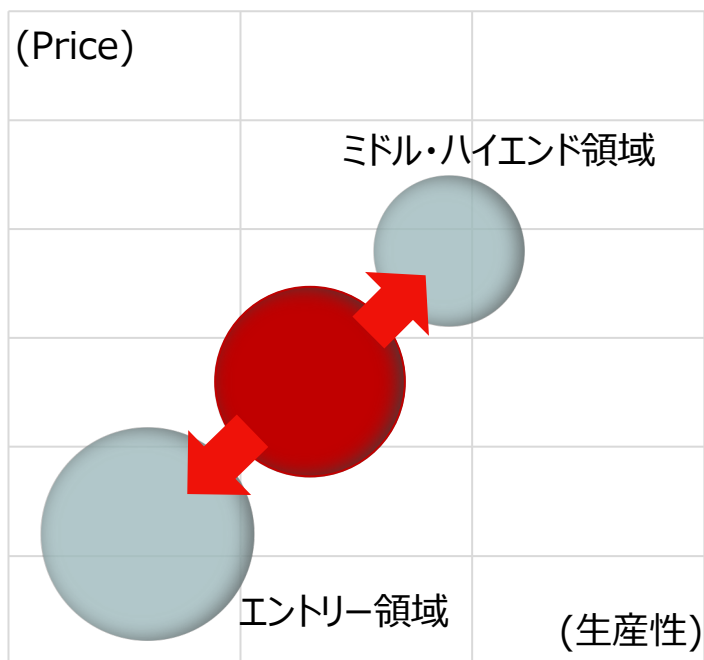


② 市場・事業別戦略

SG市場

- エントリー領域でのシェア拡大と、ミドル(・ハイエンド)領域での収益確保
- UVプリンタ特許技術の活用による競争優位性強化

- 現在のポジションからエントリー領域とミドル・ハイエンド領域にラインナップ展開



- 業界最強のUVプリンタ特許技術に基づく戦略的な競争優位性強化

ミマキが保有するUVプリンタ関連特許権 (2003年～)

日本	米国	欧州	中国	出願中
約130	約60	約30	約40	約60

UV印刷に不可欠で多岐に渡る(プリンタ以外も)

- インク組成
- 印刷後の表面グロス制御
- マルチパスを用いた高画質化
- UV印刷を用いたアプリケーション 等

特許技術を活用

ミマキにしかできないUVプリンタを
今後も世の中に送り出し続ける

② 市場・事業別戦略

IP市場

- 拡大するスマートファクトリーの流れを捉え、プリント/カット/コート工程の自動化による省人化・無人化を実現する製品やソリューションを提供
- グッズ・ノベルティプリント市場で大きなポジションを占めるパッド印刷を、インクジェットによるデジタル化で新たな成長市場として開拓する
- UVプリンタ特許技術の活用による競争優位性強化

■ 小型フラットベッドUV IJP

UJF-6042MkII



- 循環ヘッド搭載
ハイパフォーマンス
フラットベッドUV IJP

UJF-7151 plus



■ 大型フラットベッドUV IJP

JFX200-2513 EX



② 市場・事業別戦略

TA市場

- コロナ禍により市場が店頭販売からEコマースにシフトし、生産者の需要が高速機から高付加価値機に変化する機会を捉えたソリューションの提供
- 高速機はTiger 1800B MkⅢでポジションを維持しつつ、中・低速機のラインナップを強化し、デジタルオンデマンド需要に対応

■ 操作性・画質・速度・コストバランスの良い昇華転写インクジェットプリンタ エントリー機

■ 1.8m幅ベルト搬送方式高速インクジェットプリンタ

New

TS100-1600



New

Tiger-1800B MkⅢ



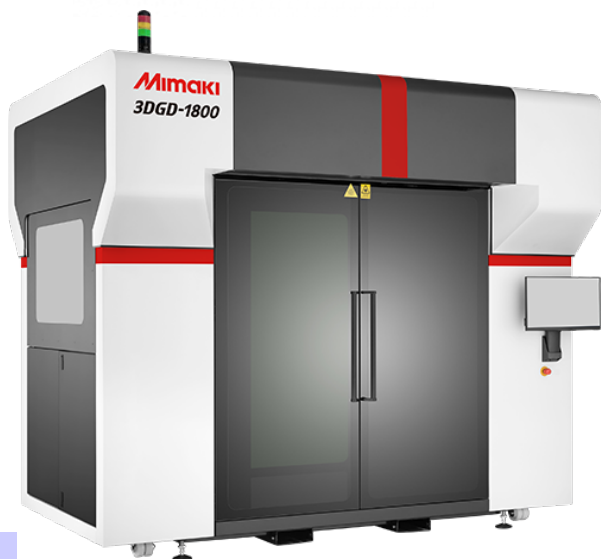
② 市場・事業別戦略

3Dプリンティング 事業

- 2017年に発売した1,000万色フルカラー 3DUJ-553を皮切りに、熱融解積層方式、1.8m大型造形モデルと順調にラインナップを拡大、2021年より、1,000万色フルカラーエントリーモデルを投入して需要を拡大
- 3Dによる造形を容易にするためのソリューションの提供

■ 高さ1.8mの紫外線硬化樹脂積層方式大型造形モデル

3DGD-1800



■ UV硬化インクジェット方式1,000万色フルカラー

3DUJ-553

ハイエンドモデル



New

3DUJ-2207

エントリーモデル



■ 熱融解積層方式

3DFF-222

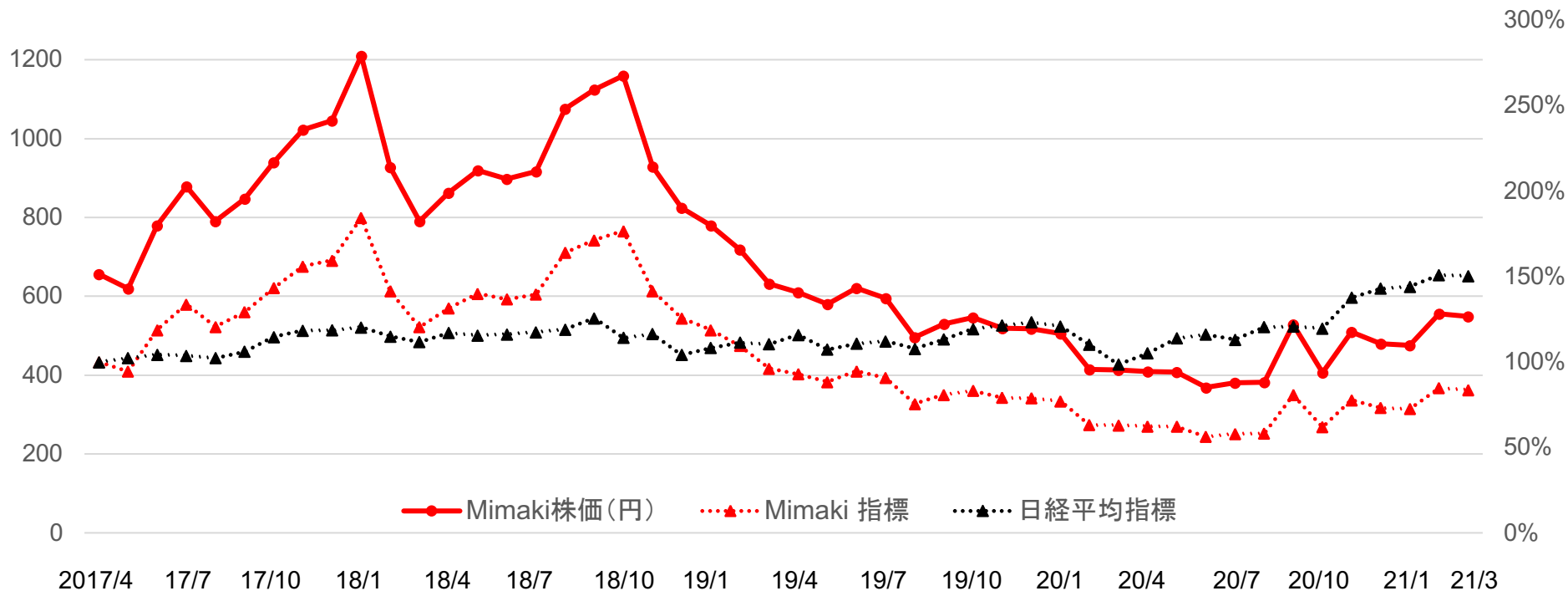


株価・株主還元等

- ✓ 株価推移
- ✓ 株式関連指標
- ✓ 株主還元

株価推移

単位:円



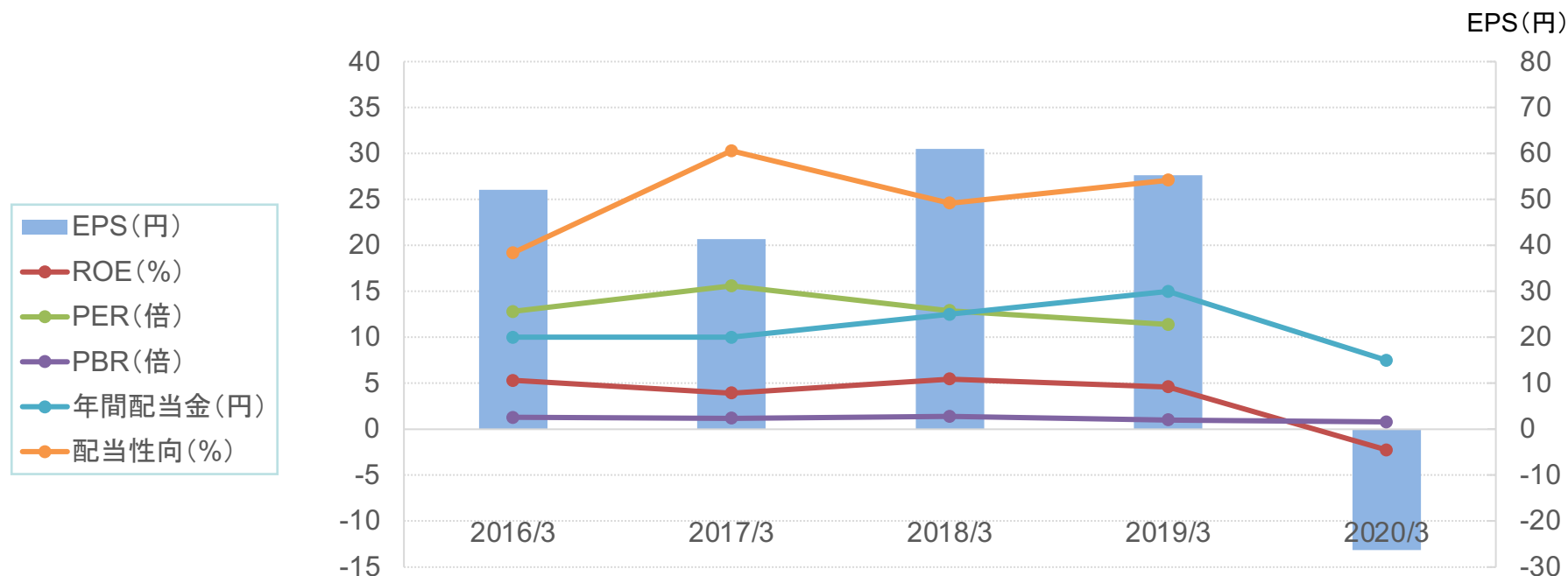
4年内
最高値

1,288円
(2018/1/26)

4年内
最安値

301円
(2020/3/17)

株式関連指標



決算期	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3	2020/3
ROE (自己資本利益率・%)	10.6	7.9	10.9	9.2	△4.5
EPS (一株当たり当期純利益・円)	52.06	41.32	61.05	55.29	△26.24
PER (株価収益率・倍)	12.8	15.6	12.9	11.4	-
PBR (株価純資産倍率・倍)	1.3	1.2	1.4	1.0	0.8
年間配当金 (円)	10.00	10.00	12.50	15.00	7.50
配当性向 (%)	19.2	30.3	24.6	27.1	-

株主還元の方針

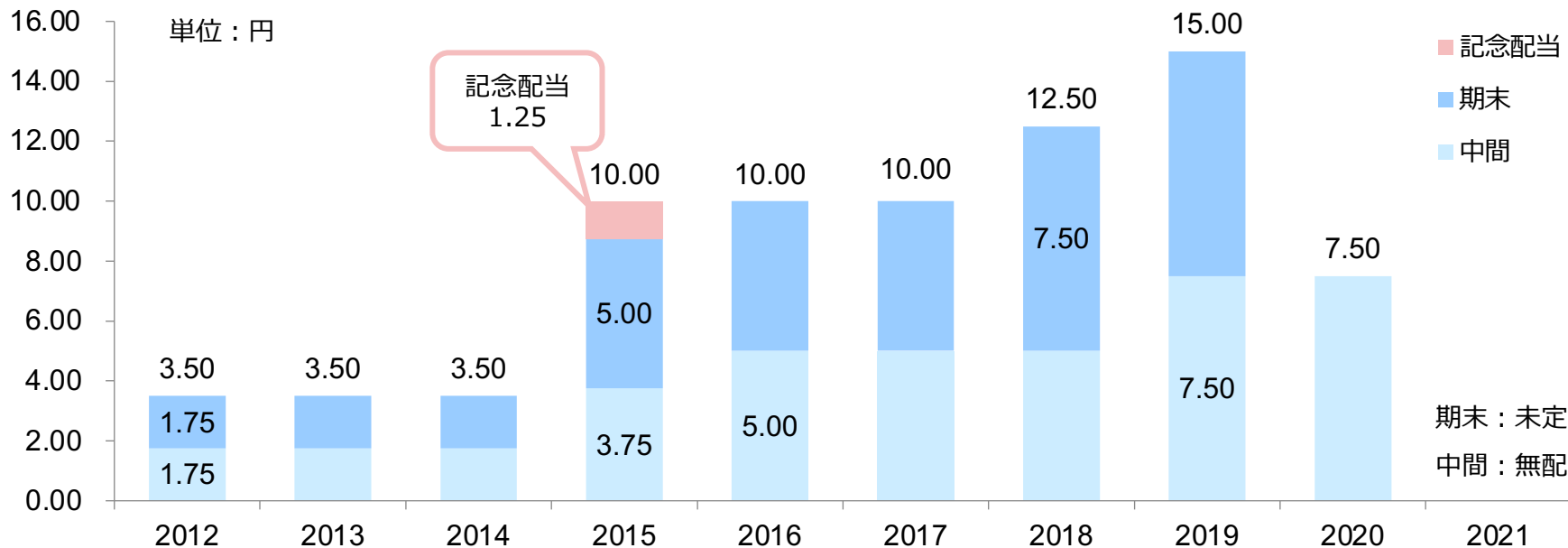
当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、業績の成長に見合った成果の配分を安定的かつ継続的に行っていくことを基本方針としています

■ 2021年3月期中間：無配

当期利益が赤字予想であることから、資金調達目途は立っているものの手元流動性確保を最優先とし、経営と雇用の安定化に備えることが最善との判断

■ 2021年3月期期末：未定

今後の業績動向を見極めたうえで、改めてご案内



※ 2015年3月期の記念配当は東証一部上場に係るものであります

※ 2015年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合をもって株式分割を実施しております（分割前の配当金は訴求修正して表示）

参考資料

- ✓ 時系列データ – 損益計算書
- ✓ 時系列データ – 貸借対照表

時系列データ (損益計算書)

		2016/3月期		2017/3月期		2018/3月期		2019/3月期		2020/3月期		2021/3月期		
		実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	予想	売上比	
		(百万円、%)												
売上高	機種群別	SG市場	22,773	47.6%	20,855	43.2%	22,587	43.0%	23,981	43.3%	21,968	39.5%	20,502	42.2%
		IP市場	14,675	30.7%	16,292	33.7%	16,934	32.3%	17,040	30.7%	15,069	27.1%	12,485	25.7%
		TA市場	5,344	11.2%	5,620	11.6%	6,019	11.5%	5,616	10.1%	5,893	10.6%	4,661	9.6%
		FA事業	-	-	-	-	-	-	1,648	3.0%	4,409	8.0%	3,784	7.8%
		その他	5,046	10.5%	5,563	11.5%	6,929	13.2%	7,160	12.9%	8,216	14.8%	7,164	14.7%
		合計	47,840	100.0%	48,331	100.0%	52,471	100.0%	55,448	100.0%	55,557	100.0%	48,600	100.0%
	品目別	本体	24,967	52.2%	24,311	50.3%	24,948	47.5%	26,364	47.5%	24,616	44.3%	19,958	41.1%
		インク	15,455	32.3%	15,837	32.8%	17,824	34.0%	18,767	33.9%	18,674	33.6%	17,970	37.0%
		保守部品	3,393	7.1%	3,639	7.5%	4,164	7.9%	4,194	7.6%	3,899	7.0%	3,478	7.2%
		その他	4,023	8.4%	4,543	9.4%	5,533	10.6%	6,122	11.0%	8,366	15.1%	7,191	14.8%
		合計	47,840	100.0%	48,331	100.0%	52,471	100.0%	55,448	100.0%	55,557	100.0%	48,600	100.0%
	エリア別	国内	12,149	25.4%	12,722	26.3%	13,466	25.7%	15,274	27.5%	18,604	33.5%	16,061	33.0%
		北米	7,600	15.9%	7,004	14.5%	7,451	14.2%	8,278	14.9%	8,179	14.7%	7,171	14.8%
		欧州	14,138	29.6%	14,364	29.7%	16,357	31.2%	16,276	29.4%	14,411	25.9%	12,922	26.6%
		アジア・オセ	9,589	20.0%	9,057	18.8%	9,297	17.7%	9,754	17.6%	9,023	16.3%	8,523	17.5%
		その他	4,361	9.1%	5,183	10.7%	5,898	11.2%	5,863	10.6%	5,338	9.6%	3,921	8.1%
		合計	47,840	100.0%	48,331	100.0%	52,471	100.0%	55,448	100.0%	55,557	100.0%	48,600	100.0%
	売上総利益		22,634	47.3%	21,541	44.6%	24,921	47.5%	26,030	46.9%	23,807	42.9%	18,300	37.7%
	販管費		19,411	40.6%	19,492	40.3%	22,191	42.3%	23,022	41.5%	22,453	40.4%	19,100	39.3%
営業利益		3,194	6.7%	2,049	4.2%	2,729	5.2%	3,008	5.4%	1,353	2.4%	-800	-1.6%	
経常利益		2,756	5.8%	1,746	3.6%	2,359	4.5%	2,643	4.8%	946	1.7%	60	0.1%	
当期純利益		1,631	3.4%	1,250	2.6%	1,833	3.5%	1,680	3.0%	-777	-1.4%	-500	-1.0%	
為替レート (期中平均)	米ドル	120.14円		108.41円		110.86円		110.91円		108.75円		105.84円		
	ユーロ	132.57円		118.83円		129.70円		128.40円		120.83円		121.78円		

時系列データ (貸借対照表)

		(百万円)	2015/3/31	2016/3/31	2017/3/31	2018/3/31	2019/3/31	2020/3/31
資産の部	流動資産	現金及び預金	7,037	11,034	10,054	11,529	11,994	11,134
		受取手形及び売掛金 ※1	7,726	7,888	8,809	9,773	10,475	10,200
		たな卸資産	16,196	14,467	14,923	16,337	18,023	18,040
		その他流動資産	2,811	2,289	2,402	1,520	1,628	1,727
		合計	33,771	35,680	36,190	39,161	42,121	41,103
	固定資産	有形固定資産	8,135	8,972	9,342	9,248	10,724	10,157
		無形固定資産	291	392	2,101	2,354	2,398	1,240
		その他の資産	1,279	1,086	1,573	3,229	3,219	1,720
		合計	9,707	10,452	13,017	14,832	16,341	13,118
	合 計		43,479	46,132	49,207	53,994	58,463	54,221
負債・純資産の部	流動負債	支払手形及び買掛金 ※1	7,535	6,867	7,369	8,674	8,352	7,271
		短期借入金 ※2	8,309	9,227	9,800	11,483	13,670	15,977
		その他流動負債	5,920	5,031	5,742	7,131	6,869	5,897
		合計	21,764	21,126	22,912	27,289	28,891	29,146
	固定負債	長期借入金	5,910	8,721	9,492	8,237	9,564	8,066
		その他固定負債	611	641	753	689	996	976
		合計	6,522	9,363	10,245	8,926	10,560	9,042
	負債合計		28,286	30,490	33,158	36,216	39,452	38,188
	純資産合計		15,193	15,642	16,049	17,778	19,010	16,033
	合 計		43,479	46,132	49,207	53,994	58,463	54,221
流動比率		155.2%	168.9%	157.9%	143.5%	145.8%	141.0%	
自己資本比率		34.9%	33.9%	32.6%	32.5%	32.2%	29.2%	

※1 電子記録債権、電子記録債務を含む

※2 1年内返済予定長期借入金を含む

〔本資料に関するお問合せ先〕

株式会社 **ミマキエンジニアリング**

IR広報部

TEL(本社) 0268(80)0058

E-mail mimaki-ir@mimaki.com

IRサイト <https://ir.mimaki.com/>

〔本資料お取扱い上のご注意〕

本資料は、株式会社ミマキエンジニアリング(以下、当社)を理解いただくため、当社が作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。